

虎姫高校との交流会

◇期 日：令和6年9月13日（金）5・6時間目

◇場 所：本校理数科学教室

◇参加者：滋賀県立虎姫高等学校1・2年生、本校2年理数科学科化学班生徒

SSH指定校である滋賀県立虎姫高等学校から先生2名と生徒18名が本校を訪問され、SS発展探究の授業を通して生徒同士の交流を深めた。

虎姫高校の生徒の皆さんは、私たちの探究活動の様子を見学した後、本校化学班の生徒とポスターセッションを行った。虎姫高校で行っている研究の一つに「架橋ポリグルタミン酸による銅(II)の吸着と回収について」というものがあった。これはSDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に着目し、工場排水として下水道に流される金属イオンの回収方法を研究するというものである。先行研究を基に銅(II)イオン以外の金属イオンで同様の実験をして仮説を検証する過程はとてわかりやすく、私たちの今後の研究に生かしたいと思った。また、SDGsと絡めたテーマの設定、仮説の立て方や実験方法を考える際のポイントなど、探究活動を行う上で大切なことを再確認、発見するよいきっかけとなった。他には中高生が楽しく化学を学べるようなカードゲームの開発や、こんにゃくの成分であるグルコマンナンからプラスチックを生成する研究など、どの研究も興味深かった。質疑応答も活発に行われ、短い時間であったが双方にとって有意義な交流となった。

他校の研究発表を聞いたことで私たちも探究活動により一層積極的に取り組もうという意欲が湧いた。12月にある三校合同課題研究発表会に向けて頑張っていきたい。

